

## 補聴器の電池の共同購入を行います。

電池のまとめ買いを、学期ごとに行います。1パック（6個入り）が、500円で買うことができます。

別紙、申込用紙に、電池の種類とパック数を記入し、代金を添えて申込みください。



## 補聴器の予備の電池、いつも持っていますか？

空気電池は、突然「プツン」と切れます。そんな時にすぐ新しい電池ととりかえられるように、カバンの中などに、予備の電池を必ず入れておく必要があ

ります。  
（修学旅行や遠足などの校外学習のときは、リュックの中に予備の電池を入れることも忘れないでください。）

日ごろから、次に示すようなセットを準備しておくことをおすすめします。

### 予備の電池

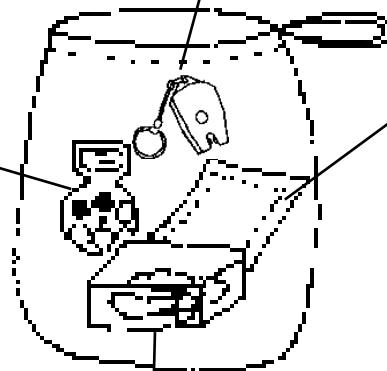
電池の空ケースに入れておけば、コロコロとどこかになくなってしまふことはありません。

最低2個を持って外出するようにしましょう。



### バッテリー（電池）チェッカー

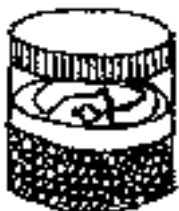
故障かな？と思ったときや、電池の消耗を調べるときに使います。携帯用の小型のものがあれば、外出時にも便利です。



### 乾いた布

汗をかいて、そのままにしているのはダメ。電池もさびるし、電池ボックスもさびてしまいます。補聴器や電池をふくことも大事です。

### 密閉容器



補聴器を外したとき、ポケットにそのまま入れてしまうと、なくしてしまったり、洗濯してしまったりすることもあります。

外したときは、必ずケースに入れる習慣を。  
外したときは、左のような乾燥（シリカゲル）ケースに入れてあげると、湿気対策になって一石二鳥です。

## 補聴器電池のことを知っておこう。

1 電池をお買い求めの際は、サイズ（種類）を間違えないように！

下の図に示すように、電池には、国際呼称と国内呼称（日本のみの呼び方）がついています。

国内呼称のほうが大きく表示されているものが多いと思いますが、一度、電池の箱を見て確認してみてください。

2 補聴器用の電池は、空気電池です。

常時使用する補聴器には、空気電池を使用しています。

一部、「水銀電池」も売っていますが、テスト用として使う以外は、環境保全のため使うことはまれです。

水銀電池はNR、空気電池はPRという呼称で区別します。例えばNR44は水銀電池で、PR44は空気電池です。

3 使用時以外は、シールをはがさないように。

空気電池は、プラス(+)面の空気孔から酸素を取り込んで初めて、反応を起こし、電気が供給されるようになります。シールをはがすと、空気がどっと入り、一度入ったら反応が始

まり、長期保存が困難になります。



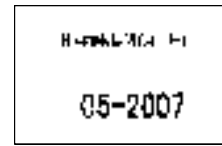
4 「シールをはがして1分以上経過してからご使用ください。」

電池の箱には、このように「1分以上」や「30秒後」などと書いてあることがあります。これは、空気電池は、シールをはがして電池の反応が始まるまでに少し時間がかかるからです。そのため、シールを剥いですぐに使った場合、補聴器が聞こえにくいことが起こります。また、電池チェッカーで調べても電池切れを表示することもあります。

5 使用推奨期限があります。

食品に賞味期限があるように、電池にも、使用推奨期限というものがあります。期限が切れたものでなく、なるべく新しいものを選んで求めることをおすすめします。

こういう表示が、電池の箱にあります。探してみてください。



6 高出力補聴器のための電池もあります。

同じ大きさの電池でも、高出力補聴器用の電池があります。

例えばPR44P(675P)と、型番の最後にPがついているものです。

高出力補聴器に普通の電池を使うと、供給電力が不足なくて、音切れや息切れをしてしまいます。大きい供給電力が必要な場合に、Pのつくタイプを使います。

人工内耳の場合は、コクレア社製のインプラント専用電池を使う必要があります。

通常の電池の電圧は1.4Vですが、人工内耳専用の電池は、1.45Vの電圧になっています。

7 電池は、シリカゲルケース（乾燥ケース）には入れない。

電池をシリカゲルの中に入れておくと、電池寿命が短くなります。補聴器から電池は取り出して、乾燥ケースに入れるようにしましょう。

国際呼称	675	13	312	10	5
国内呼称	PR44	PR48	PR41	PR536	PR521
厚さ (mm)	5.4		3.6		2.15
直径 (mm)	11.6	7.9		5.8	

図 補聴器用電池のサイズと呼称

